

ここがおかしい「幸せの座標」

－ 幸せの座標 (3) －

山本 利昭

1 まえがき

前 2 回で世界の色々な幸福指標を紹介し、幸せに関するアンケートを行った。そしてそれらを踏まえて、社会全体の幸せレベルを評価する「幸せ指標」の案を作成してみた。

今回はその「幸せ指標」案を事前に提示しますので、事前に皆さんに下記の「幸せ指標」案に目を通して戴き、会合では、内容の説明はそこそこにして、皆さんの「ここがおかしい、あそこは曖昧だ」といった各種のご指摘を戴くブレインストーミング会にしたいと思います。

ということで、事前に数個以上の問題点を考えておいてください。よろしくお願いします。

2 「幸せ指標」の概要

2.1 目的

昔は「GDP 向上」が幸せの向上と重なっていたが、日本は 80 年代の経済的繁栄を達成したが、幸福度が最大になったとは実感できなくなっている。

そこで、GDP に代わる「幸せ指標」試案を提案したい。これは個人の幸福度を評価する指標ではなく、国全体、世界全体の幸福度を評価しようとする指標である。

言い換えれば、「住みやすい国」であるかどうかを評価する指標。

2.2 狙い

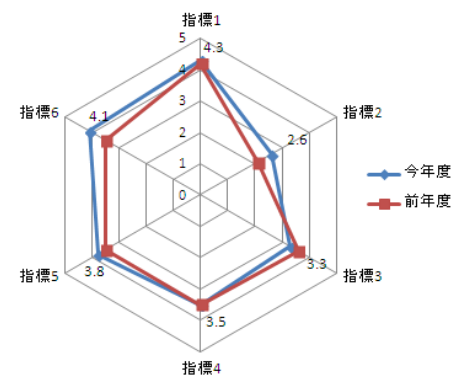
個人の幸せ状態を評価するのではなく、個人の幸せを実現する為に、国に必要な政策努力を実現できているかを評価する指標を作成する。

2.3 幸せ指標の概要

GDP の向上だけでは幸せは実現できないとよく言われる。

そこで、多面的に幸せ実現の努力を評価できる指標を作成する。

右図に示すように、幸せ実現に必要な評価軸を複数設けて、各年度の達成度合いを 5 段階で評価して、年ごとにどれだけ進展したかを一目で図式できるレーダーチャート形式の幸せ指標を作成する。



2.4 幸せの評価分野

前回のアンケートでは、所得・教育・健康をはじめ、安全、環境、仕事、家族等の分野が挙げられた。ここでは下記 6 つの分野を選定した。

- 衣食住 「所得」だとお金に特化されそうなので、広く衣食住の充足度を見たい
- 健康
- 仕事と家庭 仕事と家庭は密接に関係しているので、一緒にして評価
- 教育 家庭と教育、文化と教育、あるいは社会と教育を一緒にするとかの案もある。
- 社会と行政 政治のあり方は個人への影響が大きいので、社会に含めて評価した
- 環境 幸せが持続可能な社会を目指すには、環境も重視すべきか

上記の分野を並べてみると、衣食住と健康は個人の生活維持、仕事と教育は家族の維持、社会と環境は社会の維持という見方で並んでいる。

2.5 幸せの達成段階

アンケートでは、マズロー的視点、反マズロー的視点や政府の新国民生活指標の考え方など色々な意見があったが、生活レベルの熟成度という視点で考えた。

- 第1段階：安全 生命の安全が確保されているかどうか、幸せの第1段階と規定
- 第2段階：公正 全ての人に公正な幸せの機会が与えられていることが最大多数の幸福の前提条件
- 第3段階：希望 公正条件が確保されると、各人が各人の希望に燃えて幸せに向かって努力できる環境作りが求められる。平等よりも各人の希望を重視する社会。
- 第4段階：絆 各人の自由意思で進むと、失敗する人、天災等の不運で落ち込む人が生じる。そういう人に協調できる社会がより熟成した幸福社会と言える。
- 第5段階：生きがい 第4段階までである程度満足できる生活を実現できると、物質的満足に浸り思考停止・不安の状態になる。これを克服できる精神的「生きがい」が重要。

ここでも、段階が重要で、安全を無視して経済発展を狙う国は幸せな国とは言えない。各国の幸せ達成段階に応じて、その時に注力すべき施策は変わってくるという考え方に基づく。

2.6 幸せマトリクス

上記幸せの評価分野と幸せの達成段階をマトリクス状に組み合わせて、各分野・段階での評価指標を抽出する。この指標としては、アンケート等の主観的評価指標でもよいが、できるだけ多くの国を全体として評価できる国際的な統計データを使うようにしたい。ただ、各指標を全て客観的統計データだけで網羅することは不可能なので、主観的なアンケート調査も許容する

また各評価分野・段階の評価指標の件数に多い少ないがあると、重要度が変わってくるように思うので、各分野・段階で2件の評価指標を選ぶようにした。ただ、国際的な統計データには、特定の項目に関するピンポイントの統計データもあれば、複数項目を総合的に評価した指標もあるので、総合的な指標も選ばざるを得ない場合もある。

また、評価指標の選定にあたっては、できるだけ人口比の指標を使い、各国の人口を正規化して評価できるようにする。

以上に基づき、評価指標の一覧の試案とその簡単な解説を次ページ以降に示す。

2.7 総合指標

「幸せの座標」 評価マトリックス

	第1段階 安全	第2段階 公正	第3段階 希望	第4段階 絆	第5段階 生きがい
衣食住	不衛生家屋の住民比率 電気普及率	所得格差ジニ係数 住居費の年収割合	平均世帯年収 上下水道普及率	生活保護受給比率 GDP 比難民支援人数	通勤・通学時間 住民一人当たりの部屋数
健康	乳幼児死亡率 栄養不足の世帯比率	健康保険加入率 平均医師・看護師数	平均余命 一人当たり医療費	身体・精神障害者雇用比率 海外医療支援費	孤独死比率 高齢者の就業率
仕事と家庭	失業率 労働災害率	男女賃金格差 パートタイム賃金比率	就業率 開業比率	自殺率 単親世帯貧困率	残業時間 男女育児休暇取得日数
教育	幼少年の犯罪被害率 初等教育卒業生比率	中等教育卒業生比率 先生当たり生徒数	大学進学率 各種専門学校受講生比率	奨学金受給者比率 留学生・研究者交流比率	生涯学習受講者比率 観光・文化活動参加回数
社会と行政	事故・犯罪死傷率 難民・亡命者数	腐敗認識指数 報道の自由度	一人当たり社会資本 選挙の人口比投票率	政府開発援助対 GDP 比率 ボランティア・寄付参加率	財政健全度 一人当たり所属団体数
環境	大気汚染度 水質汚染度	GDP 比環境訴訟申請件数 大気・水質汚染死者数比	一人当たりゴミ排出量 GDP 比エネルギー消費量	リサイクル量 再生可能資源増加率	都市の緑地面積比率 生物多様性指標

分野	段階	評価項目	説明	記事	
衣食住	安全	不衛生家屋の住民比率	GNHではトイレの有無や屋根の形状を聞いていた		
		電気普及率			
	公正	所得格差ジニ係数			BLIの指標を流用。所得格差と重複するか？
		住居費の年収割合			
	希望	平均世帯年収			上下水道普及率は日本でも70%程度
		上下水道普及率			
絆	生活保護受給比率	受給比率ではなく、受給額を見るべきか	豊かさをGDP比で表現。日本は極めて低い。		
	GDP比難民支援人数				
生きがい	通勤通学時間				
		住民一人当たりの部屋数	結果的に子供部屋が増えることは良いことか？		
健康	安全	乳幼児死亡率			
		栄養不足の世帯比率			
	公正	健康保険加入率			健康の公正基準は医師数以外に何かないか？
		平均医師・看護師数			
	希望	平均余命			一人当たり医療費
		一人当たり医療費			
絆	身体・精神障害雇用比率	障害者を健康の分類に入れるのはおかしい？	GDP比で見るべきか、絶対値で見るべきか？		
	海外医療支援費				
生きがい	孤独死比率		老害にならないか？ 高齢者の健康維持は何か？		
	高齢者の就業率				
仕事と家庭	安全	失業率		家庭と仕事同居するので、バランスをどう取るか？ 離婚率とか、家庭内暴力はマイナーか？	
		労働災害率			
	公正	男女賃金格差	女性管理職比率等は除外して、賃金に着目		非正規を評価する指標は難しく、パートタイムに着目
		パートタイム賃金比率			
	希望	就業率	専業主婦が多いと就業率は下がる		個人商店も含め起業家が増える社会が必要
		開業比率			
絆	自殺率		日本の残業時間が圧倒的に多いのが問題		
	単親世帯貧困率				
生きがい	残業時間				
		男女育児休暇取得日数			
教育	安全	幼少年の犯罪被害率		教育における格差は何か？	
		初等教育卒業率	途上国での教育はこれで評価できるか？		
	公正	中等教育卒業率			先生当たり生徒数
		先生当たり生徒数			
	希望	大学進学率			自動化の進む産業界でブルーカラーを救う指標は何か？
		各種専門学校受講者比率			
絆	奨学金受給者比率	生活保護受給比率と重複するか？	留学生・研究者交流比率		
	留学生・研究者交流比率				
生きがい	生涯学習受講者比率				
		観光・文化活動参加回数	こういうのは測定可能だろうか？		
社会と行政	安全	事故・犯罪死傷率			
		難民・亡命者数	難民発生国別申請数 日本は134位		
	公正	腐敗認識指数	「腐敗認識指数」日本は18位		「報道の自由度」日本は61位
		報道の自由度			
	希望	一人当たり社会資本			選挙権の条件が問題なので人口比
		選挙の人口比投票率			
絆	政府開発援助対GDP比率		「世界寄付指数」日本は90位		
	ボランティア・寄付参加率				
生きがい	財政健全度	政府の財政健全度は社会の安定に不可欠	観光・文化活動参加回数と重複するのでは？		
	一人当たり所属団体数				
環境	安全	大気汚染度			
		水質汚染度	国際統計では水質汚染は大気汚染と一緒にしている？		
	公正	GDP比環境訴訟申請件数	環境における公正とは何か？		大気・水質汚染死者数
		大気・水質汚染死者数			
	希望	一人当たりゴミ排出量			経済発展のマイナス指標としてエネルギー消費に着目
		GDP比エネルギー消費量			
絆	リサイクル量	GDP比で見るべきか？ 紙等色々な種類をどう統合？	再生可能資源増加率		
	再生可能資源増加率				
生きがい	都市の緑地面積比率		生物多様性指標		
	生物多様性指標				